



1. 学校教育目標

「地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる下総っ子」

夢や希望を持つためには、自分をよく理解し自分を大切にすることが大切である。抱いた夢や希望を実現するために、他と協調し自らを律し粘り強く努力できる子どもの育成を目指す。そして何よりふるさと下総を愛し下総のあたたかさを大切にして、下総、社会に貢献できる人間の育成を目指す。

目指す子ども像

- ① しなやかな心を持った子 … 「他を思いやれる優しい気持ち」
「困難にくじけない粘り強い心」
「素直で前向きな心」
- ② 進んで学ぶ子 …………… 「基礎基本をしっかり身につける子」
「よく知りよく考える子」
- ③ 健康でたくましい子 ……… 「命の大切さを理解し健康で安全に過ごす子」

目指す学校像

- ① 9年間を見通した魅力ある教育課程により、学力の向上を保障できる学校
- ② 様々な指導観を持った多くの職員の関わりによる継続した系統的な生活指導が行われる学校
- ③ 子ども達の成長を、学校・家庭・地域が協働して見守り続ける体制の核となる学校

目指す教師像

- ① 一人一人の子どもを愛し、熱い情熱・覚悟をもって子どもと正面から向かい合う教師
- ② 高い理想と倫理観を持ち、自らの人格を磨き続ける姿勢を持てる教師
- ③ 良好な人間関係を構築し、組織力を発揮できる教師
- ④ 児童生徒一人一人の個性の発見と良さや可能性の伸長を支える教師

2. 学校経営方針

- (1) 学校の自立的運営、地域との協働、グローバル化・情報化への対応をカリキュラム・マネジメントの手法を講じながら義務教育学校づくりを推進する。そのために、「9年間の連続した学び」が効果的に展開される特色ある教育課程を編成するとともに、多様な教育活動を展開する。
- (2) 義務教育学校修了後の自己(目指す子ども像)を確立するために、「9年間で子どもを育む」ことを念頭に、前期(1学年～4学年)、中期(5学年～7学年)、後期(8学年、9学年)の区分で段階的に必要な力を身につけさせる。

前期：学習や、集団生活に必要な基礎・基本を身に付ける⇒自分と向き合う

中期：自ら学ぶ習慣や、良好な人間関係を築く力を身に付ける⇒他者と向き合う

後期：進路決定に向け、自律と自立に基づいた、行動・言動を身に付ける⇒将来や社会と向き合う

- (3) 教育活動全体を通じ命の大切さを理解させるとともに、自ら考え行動し表現できる「生きる力」を育む指導を徹底する。
- (4) 全教職員が義務教育学校としての「子ども観」、「指導観」、「指導方法」を身につけ、多角的な視点で、子ども一人ひとりに即した指導が行えるようにする。
- (5) 地域唯一の義務教育の学校であることを常に意識し、家庭・地域・関係機関と連携・協働して教育活動を展開するとともに、互いに信頼し合える教育の場づくりをすすめる。

3. 重点目標

- 『知育』・・・学習規律がしっかりと身に付いた子どもの育成
進んで学習し、深く考える喜びを実感できる子どもの育成
→前期ブロックにおける複数教員による学習・生活支援、5年生からの50分授業・教科担任制の実施、タブレットの積極的・効果的な活用、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現（授業改善）、読書活動の推進、家庭学習の個性化・習慣化、総合的な学習（探究）の時間の充実
- 『徳育』・・・自分をよく知り、愛し、そして他を尊重できる子どもの育成
→児童生徒主体の活動（縦割り活動、異学年交流、生徒会活動→委員会活動の充実）、あいさつ・清掃・歌声活動、体験活動の充実、道徳教育の充実
- 『体育』・・・自らの健康・安全に関してしっかりと理解し、積極的に実践できる子どもの育
→体育科の工夫、課外活動の充実、残菜量ゼロを目指した食育

4. 目指す子ども像を達成するための経営の重点と具体的方針（5項目17方策）

（1）学習指導等（指導計画、学習指導、評価・改善、キャリア教育など）

- ① 9年間を見通した子どもの学力向上に取り組む
- ② タブレットなどICT機器を積極的に活用した授業のICT化を推進
- ③ 読書活動の推進を図り、文章を読み解く力の基礎づくりに努める
- ④ 家庭と連携し、家庭学習の個性化・習慣化を図る
- ⑤ 特別支援教育の充実を図る
- ⑥ グローバル社会で活躍できる能力を育む
- ⑦ 系統的なキャリア教育の推進

（2）生徒指導等（児童生徒理解、指導実践、特別活動等、健康安全、課題への対応など）

- ⑧ 豊かな心を育て、道徳心を育む教育の推進
- ⑨ 子どもが安全に安心して生活できる学校をつくる
- ⑩ 心身ともにたくましい子どもを育てる
- ⑪ 児童生徒の主体性を重んじた活動を展開する

（3）校務分掌等（学校運営、校務分掌など）

- ⑫ 校務分掌を機能させ、情報を共有し、協働体制を構築する
- ⑬ 校内研修を充実させ、指導力の向上を図る
- ⑭ 評価を生かした学校づくりを推進する

（4）調整・連携（職員間の連携、保護者等との連携など）

- ⑮ 教職員間で調整・連携して円滑に学校運営を進める
- ⑯ 家庭・地域、関係機関等と連携する開かれた学校づくりを推進する

（5）不祥事根絶・働き方改革

- ⑰ ワークライフバランスを意識した職場環境づくりを推進する